



保育園って楽しいね♪

4月園だより



どうぞよろしくお願いいたします。

4月の行事内容

関川お花見……関川の桜をみんなで見に行きます。桜の花びらがひらひら舞っていく様を見て感動できたらと思います。

体操教室……年中組、年長組が参加します。

(体操服で登園してください)

とび箱・マット・縄跳び・鉄棒・ドッジボールなど指導をしていただきます。

命を守る訓練……火災・地震・連れ去り防止等の訓練をします。

関カントリー……年長組が関カントリーに行き、バンカーで遊んだり、芝生で滑り台をしたり、広いグリーンでお弁当を食べます。(後日連絡)

(体操服で登園してください)

バランスボール……年長組さんが、音楽に合わせて体幹を鍛えます。楽しく参加できると思います。(体操服で登園してください)

お話タイム……毎月1回楽しいお話、昔話など遊戯室で観ます。

誕生会……毎月誕生児をお祝いします。職員のたのしいお楽しみもあります。

英語であそぼう……年中組、年長組が参加します。

ネイティブ(外国の講師)は、年長のみの参加です。

春の遠足……保育園近隣へ歩いて遠足に行きます。詳細は後日連絡いたします。

身体測定……毎月、お子さんの伸長・体重を測定します。一年間の成長が楽しみです。

行事予定変更

日	曜	行 事
4	金	入園式 (年少組のみ)
5	土	
6	日	
7	月	始業日 (一日保育)
8	火	関川お花見
9	水	体操教室
10	木	命を守る訓練
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	関カントリーお花見
15	火	
16	水	体操教室
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	バランスボール
22	火	お話タイム
23	水	体操教室
24	木	誕生会
25	金	英語であそぼう
26	土	
27	日	
28	月	春の遠足 (園児のみ)
29	火	昭和の日
30	水	身体測定

4月のねらい

がっしょうもんぼう
合掌間法

入園・進級を喜び
園生活に親しもう
(ともだち)

4月のうた♪せんせいとおともだち♪

- ① せんせいとおともだち せんせいとおともだち
あくしゅをしよう ぎゅつ ぎゅつ ぎゅつ
- ② せんせいとおともだち せんせいとおともだち
あいさつしよう「お・は・よー」
- ③ せんせいとおともだち せんせいとおともだち
にらめっこしよう「めっ・めっ・めっ」

今年度も沢山の歌を歌ってきたいと思います。

おしらせ・お願い

- *年少組のクラス名がちゅうりっぷ組からもも組に代わりました。3歳児クラスはもも組です。
- *朝は9時30分までに登園しましょう(欠席・遅刻・早退等の時は園まで連絡をお願いします)
- *いつもと違う方のお迎えの時は、誰がお迎えかをご連絡ください。身内の方でもお渡し出来ません。
- *園で体調が悪くなる場合があります。緊急連絡をいたしますので緊急連絡先は、必ず連絡が取れるようお願いします。連絡先が変わったときは必ず変更先をご連絡してください。
- *雑巾を2枚(無記名)持ってきてください。
- *駐車場はアピセ関さんにお借りしています。駐車場では遊ばない、おしゃべりの場とならないようまた、必ずお子さんの手を繋いでください。事故防止にご協力をお願いします。送迎は速やかにお願いします。また、車を離れる時は、エンジンは必ず切ってください。
- *暑くなります。水筒にお茶又は水を入れて持ってきてください。水筒には名前を書いてください。

5月の行事予定 (変更する場合があります)

1日 交通教室	14日 体操教室	21日 体操教室
2日 命を守る訓練	16日 英語であそぼう	23日 英語ネイティブ
7日 体操教室	わくわく広場人形劇	26日 バランスボール
9日 英語であそぼう	19日 お話タイム	28日 体操教室
12日 バランスボール	20日 誕生会	30日 身体測定

ご入園、ご進級 おめでとうございます。令和7年度がスタートいたしました。

誰もが一度しかない幼児期を、一人ひとりが子どもらしく伸び伸びと過ごしてほしいと願っています。これから、ドキドキワクワクの園生活がスタートしますが、たくさんの行事や遊びを通して、友達や職員と楽しい思い出をいっぱい作ってほしいと思います。涙を浮かべているお子さんも、すぐに園生活に慣れることでしょう。

4月は環境が変わり子どもたちの心は不安になります。失敗したり、できなかったりすると登園をぐずすることもあるかと思いますが。みんなが経験する過程です。子どものペースで保育を進めますので、温かい言葉で毎日送り出させていただきますようご協力をお願いします。



職員が困っていること

名前のない物があると誰の物なのか分かりません。本人の元に戻らないことがあり、最後には処分することになります。

友だちと同じ服の時、どちらがどちらの子の物なのか分かりません。困ってしまいます。

子どもたちは、自分の物に名前がついていることで愛着がわき、物を大事にする心が育っていきます。大変かと思いますが、細かなものを含め、持ち物にはすべて記名をお願いします。

